



# とうえい

令和5年5月19日  
東栄小学校  
学校だより第2号

## 心がポカポカ！

青葉若葉が美しい季節となりました。先月、東栄小学校に来てくださった尾張旭市長さんが「校長室に来るまでにたくさんの子どもたちが『こんにちは』とあいさつをしてくれました。中には、私が向いていない背中側からあいさつをしてくれる子もいました。素敵な学校ですね」と褒めてくださいました。その声を聞いた次の瞬間、校長室にいた全員（市や本校の職員）が笑顔になり、とても温かい雰囲気になりました。



朝は「おはよう」、昼は「こんにちは」、夜は「こんばんは」、先生や友達と別れるときは「さようなら」、出かけるときは「行ってきます」、お家に帰ってきたら「ただいま」、ごはんを食べる前は「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさまでした」、寝るときは「おやすみなさい」など、日常生活の中にはたくさんのあいさつがあります。短い言葉なのに相手に自分の気持ちを伝えることができる魔法の言葉のように感じます。私は毎朝、子どもたちと「おはようございます」のあいさつを交わした瞬間、心がポカポカし、今日も1日ががんばるぞと思えてきます。廊下でも「こんにちは」と笑顔を向けてくれて、元気もらっています。あいさつは、した人もされた人も心がポカポカすると思います。恥ずかしくても面倒でも元気よくあいさつをすると、きっと、皆さん一人一人の心と周りの人たちとの心をつないでくれるのではないのでしょうか。声に出すことが恥ずかしい人は、頭をペコリと下げて会釈をしたり、手を振ってみたりすることで気持ちが伝わると思います。

ここ数年、コロナ禍で人と人との距離ができ、マスクの着用により相手の表情も読みにくい世の中になっている気がします。だからこそ、人と人との最初のコミュニケーションである「あいさつ」を大切にしていきたいと考えています。ぜひ、保護者や地域の皆様もご来校の際は、廊下や階段ですれ違う子どもたちに「こんにちは」と声をかけてください。もしかしたら、返事がなく嫌な気持ちになるかもしれません。その時は教えてください。より良いあいさつについて、子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### ～ちょっといい話 その2～



くつがそろっている昇降口は、素敵に見えます。かかとを自分の方へ向くようにして、右と左をくっつけて並べている子たちがたくさんいます。くつを出しやすく、見た目もいいので、ぜひ続けましょう。

(校長 井田 寿)